



2025 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名	株式会社ワイズホールディングス
代表者名	代表取締役社長 堀 直 樹 (コード番号：5955 東証スタンダード)
問合せ先	取締役管理本部長 村 澤 快 津 TEL 0 7 5 (5 4 8) 4 9 0 0

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する東京証券取引所の要請を踏まえ、当社の現状評価、方針・目標、取組みについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

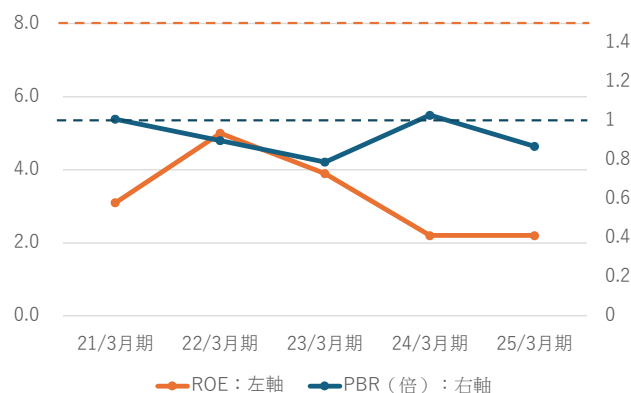
以 上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

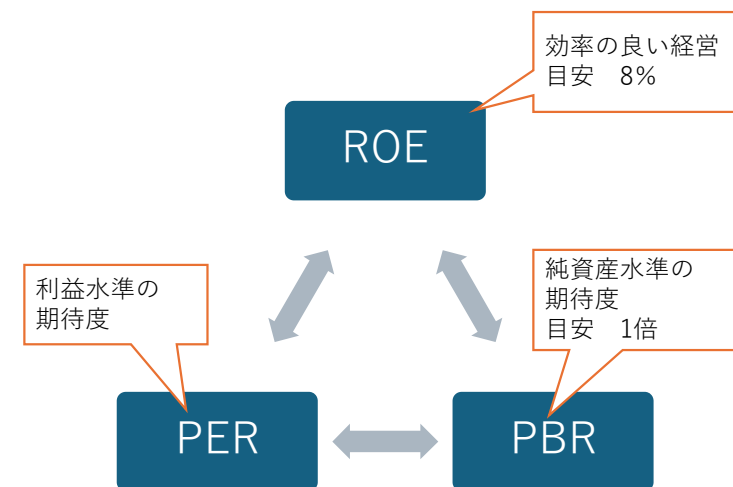
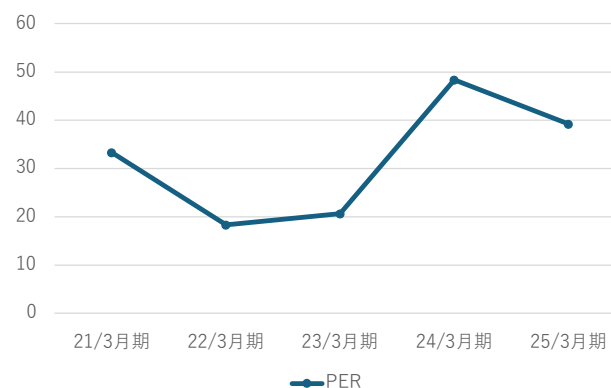
株式会社ワイズホールディングス

現状分析

ROEとPBRの推移



PERの推移



- 直近ROEは2.2であり、資本が効率的に活用できていない。
- 直近PBRは0.87であり、持続的な収益性に不安がある。
- 直近PERは39.2であり、安定性と信頼性があり成長が期待されている。

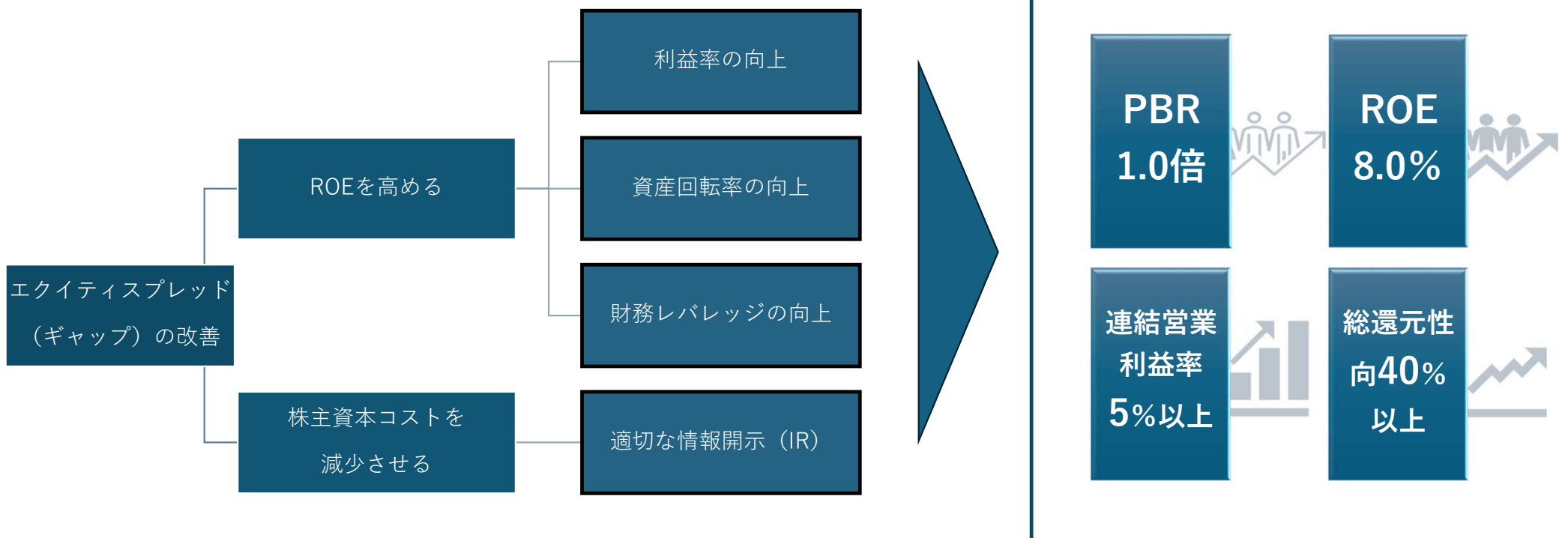
資本を活用した効率的な経営が課題。
想定する資本コスト（5～7%）と
ROEにギャップがあり投資家の期待に
応えられていない。

株主資本コスト (CAPM)
 $= R_f + (\beta \times \text{市場リスクプレミアム})$
 リスクフリーレート (Rf) : 0.9%程度 β : 0.8~1.0
 市場リスクプレミアム : 6%程度

改善に向けた方針

資本効率性と資本収益性の改善による企業価値の向上

数値目標 2031年3月期



具体的な施策

利益率の向上

事業コスト削減
収益性の高い事業への投資



資産回転率の向上

非効率資産の解消



財務レバレッジの向上

一定の自己資本比率を確保した有利子負債の効率活用
自己株式の取得及び配当による継続的な株主還元



適切な情報開示 (IR)

人材投資
投資家対話への判断材料提供による情報の非対称性解消



注意事項

- 本資料は情報の提供を目的に作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 掲載内容について注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来に関する記載は、当社が本資料発表日現在において入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づいており、当社としてその実現を保証するものではなく、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料における情報につきましては、各自の判断、責任においてご利用いただきますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害に関しても、当社は一切責任を負いません。